

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協 ひろば

第 88 号 (準備会から通算第 109 号)

発行日 令和 6 年 8 月 3 日

発行所 逗子市久木 2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 山崎 徳次郎

・・・SDGs・・・

近頃 SDGs という言葉をよく見かけます。

Sustainable Development Goals の略で、ご承知のように持続可能な開発目標という意味です。

普段の生活の中であまり意識することはないですが、子、孫の時代にどのような環境になっているかを考えると、決して無視できない重要なことと思います。

17項目が掲げられており、

1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 4. 良質な教育をみんなに 5. ジェンダー平等の実現しよう 6. 安全な水とトイレを世界中に 7. クリーンなエネルギーをみんなに 8. 働き甲斐も経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう 10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられる街づくりを 12. 作る責任使う責任 13. 気候変動に具体的な対策を 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさも守ろう 16. 平和と公正をすべての人に 17. パートナリーシップで目標を達成しようとなっています。

目標 7 のエネルギーについては、世界がいま直面している主な課題と機会のほとんどすべてで中心的な位置を占めています。雇用であれ、安全保障であれ、気候変動であれ、食料生産であれ、所得の増大であれ、すべての人がエネルギーを利用可能にすることは必須です。

しかし、課題の解決には程遠いため、クリーン燃料とクリーン技術へのアクセスを拡大するとともに、建物や輸送、産業における最終用途への再生可能エネルギーの統合をさらに前進させる必要があります。普段の生活の中で化石エネルギーの使用をいかに減らすか、また自然エネルギーへの転換を進められるか、我々にも与えられている課題と言えます。個人的には移動にはなるべく自転車を使うことを心がけています。

目標 11 住み続けられる街づくりでは、固形廃棄物の安全な除去と管理など、急速な都市化がもたらす課題は、都市の繁栄と成長を継続しながら、資源利用を改善し、汚染と貧困を削減できる方法を取らなければなりません。都市ごみ収集の増大に対処し都市が基本的サービスやエネルギー、住宅、交通機関その他へのアクセスを確保し、すべての人に機会を提供できる未来をつくる必要があります。

最初に私たちにできることは、ごみの分別を徹底し資源としての再利用への協力ではないでしょうか。できることをしっかり実施しましょう。

校区住民協 副代表 長嶋 啓

(逗子ハイランド自治会会長)

令和 6 年 7 月度役員会

開催日時と場所：2024 年 7 月 6 日（土）13 時

議題

(1) 事務局からの報告事項

①逗子市住民協連絡会(6/21 開催)の件

事務局より、次の如くの報告があった。

市長よりつき下記 2 点を重点項目として取り組んでゆく旨説明があった

a) 高齢者の公的な移動手段の提供

今年度グリーンスローモビリティによる実証実験を行う予定だったが、予算案につき議会承認が得られなかった。しかし、本件は重要な課題であるので、今後協議会・懇話会を立ち上げて議論していく。また並行して実証実験も実施したい。

b) 防災に関して

能登の地震災害復旧状況の視察に行ったが、普段から防災訓練をこまめに実施していた地区では死者ゼロだったと聞いた。また、発災時 3～4 日までの初動がいかに大切かを実感した。逗子市と

(2) 審議事項

①防災/無線機の対応について

各地区の自主防災組織は無線機購入の補助金申請に向け、申請書類の作成準備に取り掛かっていることが確認された。申請は 7 月末日まで、決定は 8 月～9 月、購入はその後となる。

また自主防災組織のない、「山の根会」に関しては、森田会長より、7 月中に結成し、間合うように対応する旨確認あったことが報告された。また免許局の問題については、再度詳細確認してから、住民協としてあるべき姿を構築することとなった。

②避難所運営委員会報告

11 月 17 日の防災/避難所訓練につき、地区防災拠点設置訓練、Web アンケートの実施、在宅避難者の安否訓練、無線機を使用した被災状況伝達訓練、避難所のパーティション設置訓練、マンホールトイレの設置訓練などを企画しているが、今月の会議で決定するとの報告があった。

③減災部会報告

久木地区防災拠点のリーダーである堀田氏に地区を知ってもらう取組として、6/29 に山の根地区の街歩きを実施した。7/13 には久木地区の街歩きを実施する予定。堀田氏より、地区の危険箇所、課題のある場所の情報につき市役所

00 分～15 時 00 分、久木会館 出席者：16 名

(内役員 13 名)

しても防災に重点的に取り組んでいく。

その後、防災安全課から地区防災拠点設置の概要について説明があり、今年度の防災訓練では、昨年度久木で実施した、各地区での在宅避難者情報把握、地区自主防災組織・防災拠点・本部との情報ネットワーク実証訓練、Web アンケートの実施などを逗子市全体で実施する予定との説明があった。

防災に関して、亀ヶ岡団地が進んでいるようだが、他の住民協の状況はまちまちである。

また、住民協の役割につき議論があり、平時の各地区の調整役であり、地区活動の下支えをする役割であることを確認した。

また小坪は住民協のホームページを作成して情報供与に役立てている、今後久木でもホームページ開設に向け検討していきたい。

内の関係所管と共有するつもりであるとの説明があった。

事務局より危険崖地調査のフォローアップがコロナ禍で中断したままなので、再度、都市整備課、緑政課との意見交換の場を調整するよう要請された。

④住民協ひろばの特別号の件

久木小学校の改築工事が始まるのに合わせて、その間の学校の不便な点、地域の協力が欲しい点などを軸に、将来的にコミュニティスクールの企画につながるような内容を中心に考えていくことになった。本件に関し、事務局が趣旨書をまとめ、それを基に関係各位にも回り、議論をすることになった。8 月にはテーマを決定する予定。

⑤旧日本多邸一般公開につて

旧日本多邸の改装工事が終了し、地区住民への内覧会が 6 月 29 日に開かれたことが報告された。本建物は久米設計が所有し、社員の研修、ワーケーションに使用する。また地域貢献に使用との意思表示もあるので、今後どのような地域貢献に役立てていくのか注視していくことになった。

⑥久木朝市について

7 月 14 日に三浦スイカ(50 玉)を目玉商品として実施する。今回はコロナも落ち着いてきたの

で、会場内でスイカが食べられるコーナーを作りたいとの要望があったので、オッサンスサロンと命名しチラシに記載した、本件は男性陣で対応するよう要請された。

⑦その他

○宝くじ助成金について

申請した大型 TV(有機 EL SONY BRAVIA)の購入助成が決定した。具体的な手配は市民協働課が実施、現在、納入業者が決定し、入荷を待っている状況とのこと。

事務局より、パリオリンピックに間に合えば、関係者が集まってパブリックビューイングの試行を実施したいとの提案があった。

○高齢者向けの健康推進企画について

福祉部より高齢者向け健康推進活動の実施につき紹介があった。

○会員登録の件

「山の根体育会」代表の岩下氏の退会申請があったが、後任の代表者を会員登録するよう要請された。

○みんなのカフェの件

みんなのカフェは参加者が非常に少ない、周知度が低いことも原因のようなので、開催日には目立つような「のぼり旗」を立てて集客につなげたら良いのではないかと提案があり、のぼり旗を作成する方向で検討することになった。

《寄稿》 勇気あるひとことが生むこと

2023.12.1.

駄洒落栖人

第10回横浜市民感謝ディが横浜グランドホテル内で開かれると横浜市広報に載った。それはこうであった。「同イベントは、横浜市在住、もしくは在勤者の方を対象とした、1日限りの特別イベントです。会場は、横浜市認定歴史的建造物である本館宴会場「レインボーボールルーム」。横浜開港資料館・横浜都市発展記念館 副館長青木祐介氏による関東大震災からの横浜復興の歴史についての記念講演「関東大震災100年 大震災の記憶を継承する」や、横浜で生まれ親しまれてきたホテル伝統の洋食を楽しみながら、歴史薫る空間で在りし日の横浜を感じるひとときを過ごすことができます。」

横浜に来たばかりの私としては興味が湧いた。さっそく一万円で申し込み。

当日、誰も知り合いのいない所でランチを食べて話を聞いて帰るだけか。それならいっそ誰か一人と話して、その時限りの時間をつぶせばいいか、それとも気に入った方がひとりでもいいからいたらよいなあなんて思いながら会場に入った、講演が始まった。興味深い写真を見た。

会食が始まった。総料理長の挨拶があった。バイキング形式。黙って食べ始めた。

私の座っているテーブルの住民は、見回すと夫婦が3組、男だけが私を入れて3人。私の隣の方は黙々といただいている。あっちのほうを向いて。もう一人の隣の隣の方は、キョロキョロしながら食べている。3組のご夫婦は会話なし、黙々と食

べている。ちょっと勇気を出した私。隣の人に「これをどのようにお知りになったのですか」この質問であった。隣人が、すぐに答えてくれた。おひとりさまで来ている。ところがその質問を皮切りに、その方がよく私にも尋ねてくれる。せっかくなのでここまで話をして気持ちの良い情報交換できたのだから思い切って、名前を聞き、また今度お会いしましょうと話を向けると「来月、ここのチャペルでコンサートがあるんですが、来ませんか。¥3500です。興味おありでしたら私が予約しておきましょう」と誘ってくれた。輪を広げるチャンスと考えての参加でしたから「はい」と。

で、当日チャペルコンサートが、ホテルニューグランドの最上階にある。そこで彼、Nさんと会う。私よりも三つほど年上である彼は、音楽大好き人間。そして音楽に詳しい。わたし、音楽に近づく横浜がとても気に入らだしている。千円二千円で生の音楽に親しむことができるこの横浜、好きになりそう。このNさんをここに。音楽鑑賞が終わり、1階のレストランで食事を共にしたらNさんのプロフィールが分かった。そこにコック帽子をかぶりコックの白衣を着た方がNさんを訪ねて談笑。Nさんが紹介してくれた方、名誉総料理長のUさんでした。「名誉総料理長」ですって。そんなかた人生で出会ったことありませんから、興味津々です。こんな方ともお近づきになれば面白いのにと。それが、Nさんとの3回目に親しみを込めて知り合うことができたのです。それは

こうです。Nさん曰く、Uさんは、料理だけでなくカラオケがプロ並み、バンドをバックにいい声で歌う、毎年1回、彼の作った料理で100名招いて宴を開くという。そこで思った。私も百人の一人になればなあ。

それからUさんにメールを書きました。Nさんのおかげです。なんとNさんは、このホテルニューグランドでコックとして働いていた。料理長になろうと懸命に励んだが、成れないということが分かって、辞めた。転職して今は経営コンサルタントを末だやってられるとのこと。だからNさん

はU名誉総料理長の先輩なんだということ。

Nさんと仲良く音楽鑑賞を楽しみだしたから、Uさんと知り合いになれば、メールのおかげでUさんの宴に誘って下さるといふところまで来た。

ホテルニューグランドのレストランのスタッフとも顔なじみ成れた。Nさんのおかげ。高い料理を頼む必要はあるけど。あの一言の勇気を出して声かけたら、こんなことになって…年取ってからでも友達是可以。

今年の暮れが楽しみになった。

(校区住民協 監事 細野裕)

《レポート》 ～ 久木会館に大型TVが ～

事務局長 石井 達郎

逗子市市民協働課経由でコミュニティ助成金（宝くじ助成金）として申請していた、地域で皆で楽しむパブリックビューイング用の大型TVが助成受諾された。納入業者のスケジュール次第だが、7月26日から始まるパリオリンピックには地域で見ることが出来そうである。

従来久木会館では2019年のラグビーワールドカップ、昨年のWBC等、プロジェクターを使ってスポーツイベントを地域で楽しんで大いに盛り上がったが、今度はTVの大型画面を直接見る事が出来る様になる、スポーツや映画等を大勢で見る事は、一人で鑑賞するより楽しみが倍増する。



手前味噌になるが逗子市内でこのような大型TVを持つ会館は無いものと思われる。地域の人々が集まってスポーツや文化イベントを楽しむ。地域の人々の交流に大いに役立てたいものだ。

編集後記

6月の朝のニュースで驚かされた事がある、アメリカの半導体大手エヌビディアの株価が上昇し、企業の価値を示す時価総額が3兆3,300億ドル（当時の為替換算で576兆円）となり、マイクロソフトやアップル等の巨大企業を抜いて世界一の企業規模の会社となったとのニュースであった。

エヌビディアは生成AI向け高性能半導体の圧倒的なシェアを持ち、生成AI（人工知能）の登場により、スマートフォンの革新をもたらした米巨大企業からAI時代の基盤企業へ株式市場の盟主交代と云えるのだろうか。時価総額では日本のトヨタでも60兆円で、日本のGDPが591兆円で576兆円という当社の時価総額の規模にただただ驚くばかりである。それだけ世界のAI需要が世の中を席捲しているのだろう。因みに80～90年代には日本の半導体は世界の50%以上の市場シェアあったが現在は10%程度だと云う。

地域の中にあっても世の中の大きな流れは感じていたいものだ。

事務局長 石井 達郎